

令和6年度 麦田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・地域住民の中でケアプラザを知らない人や、「ケアプラザ＝高齢者を対象とした施設」というイメージは定着しているが、幅広い対象者の相談を受け止める施設としては十分に認識されていない。地域においては、高齢者のみならず、より多くの住民に向けてケアプラザの機能を周知する必要があるため、町内会や老人会を通じてCPの説明などを行っていく。

・地区社協、連合等による話し合いが活発になっており、事業の見直しや新たな取り組みの検討が進みつつある。地区社協と話し合いの機会を増やししながら、ワークショップやふらっとむぎたストリートコンサート等共催事業をしながら、運営支援を引き続き行っていく。

・より多くの住民に各団体の活動目的や事業を周知していくために、ケアプラザ内の連携を強化し、地域の動きを把握し、地域支援チーム内や他機関と情報共有、連携を図っていく。

・多くの課題を抱える世帯が増え、サービスだけで解決できない相談が増加している。

・地域住民の健康的な在宅生活を支えるために、健康づくりサポーターの活躍と共に体力測定を各サロン等で実施をして健康の意識を高めていく。

・終活や成年後見制度についてケアマネジャーや民生委員へ周知をしていく。

・診療所や薬局、医療相談室など地域の医療機関との関係作りを進める。また、昨年度より参加している障害三機関会議の引き続き参加を続け、連携強化に努める。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	個別ケースを地域と一緒に考えながら進めていくことで、住み慣れた町で暮らしていけるような地域を目指していく。地域課題解決に向けた取り組みを地区が一体となって行えるよう、地区社協等と協力しワークショップを実施する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・交流の場づくりを通して、ボランティアを募集して新たな担い手の参加を目指していく。また、DSの利用者の自主事業の参加等を進めていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・エリア内、及び近隣の医療機関（開業医、歯科医、薬局など）を訪問しケアプラザのパンフレット写真入りカード、広報紙を配布する。 ・障害関係機関とケースの共有をしながら関係を深めていくなど、様々なネットワークを広げていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

昨年から引き続き民生委員を中心とした個別ケースの共有や地域別に情報交換会を実施し、より顔の見える関係づくりを深めた。包括と民生委員の距離も近くなり、寄せられる相談や協働する場面が増えた。

地区全体への働きかけとして、第3地区ワークショップを令和4年度より実施しているが、今年度は認知症の理解と見守り力について考える機会となった。第4期地域福祉保健計画 地区別計画の振り返りや次期に向けた検討の場を第3地区社会福祉協議会とともに検討し、実施につなげることができた。次年度以降も継続していきたい。

子育てサロンやくるくるマルシェ、ふらっと麦田ストリートコンサートなど、子どもや障害のある方や高齢者など多世代が活躍、交流する機会を持つことができた。今後も引き続き実施していきたい。

広報紙を奇数月発行しているが、第3地区内の自治会町内会が行う取組や歴史などを掲載した。地域活動の周知や新たな活動者の発掘につながるように、引き続き取り組んでいきたい。

区からのコメント

広報紙の配布先として様々な関係機関と繋がったり、各自治会町内会を取材することで多くの地域情報を得るなど、広報紙を有効に活用しています。民生委員をはじめとした地域の活動者や関係機関との関係づくりに努めていただいています。複合的な課題を抱えた方からの相談が増える中、地域の事業所と連携して課題の解決を図る取り組みも進めていただいています。

引き続き、地域福祉を担う人材の発掘や育成の取組を積極的に進め、地域福祉活動の維持・充実に向けてよろしくお願ひします。

令和6年度麦田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	アセスメントの結果サービスの利用が好ましいと判断された場合「事業所の比較検討に関する利用者説明ガイドライン」に基づいて、事業所の選択を行う等していきます。	法人全体における事故報告を集計分析するとともに、会議等で職員間での共有をしていきます。その結果を受けて、施設で事故の分析や再発防止に向けた検討・対応を行い、事故防止に役立てます。また、ヒヤリハット事例の抽出・共有を行い、事故や事故までには至らない潜在リスクの情報についても職員全体で共有・分析し、事故防止につなげます。ケースファイル等個人情報が含まれる書類の取り扱いについて、必要時以外の部持ち出しの禁止といった自己管理の徹底と事業所内ルールを職員に定期的に周知します。
実績	介護保険認定後に居宅介護支援事業所の選定を行う際については、公正中立の立場から相談者の意向に合わせて、ホームページ等の資料を用いて事業所情報を説明し、選択していただくようにご紹介を行いました。	朝礼・夕礼時に日々ヒヤリハットの共有や事業所内外の事故について情報共有と検討を行いました。個人情報保護研修や人権研修も職員全体に向けて研修を実施しました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	心身機能の改善だけでなく、一人一人の強みや希望を理解し、その人らしさや生きがい、役割のある暮らしをイメージしたプランニングを行います。	地域で安心した暮らしが送れるように他機関と連携しながら本人と家族の支援を行います。 担当ケースの目標プラン数は月平均104件を目標とします。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者 1名(兼務) ・主任ケアマネジャー 1名 ・保健師 1名 ・社会福祉士 1名 ・プランナー 1名(非常勤)	管理者 1名(常勤) 介護支援専門員 1名 (兼務1名含む常勤1名、非常勤2名)
契約者数	159名	26名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	住み慣れた地域と自宅で継続して生活できるよう自立支援を行います。 利用者平均人数 26名/日 介護予防、第1号 利用者平均人数 18名/月		
実施体制	通所介護 【実施日数】 350日 【提供時間】 10:15 ~ 15:20 【定員】 30名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
	第1号、介護予防 【実施日数】 350日 【提供時間】 10:15 ~ 15:20 【定員】 10名		
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 食費 ¥800	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者 1名(常勤) 生活相談員 2名(常勤) 看護師兼機能訓練指導員 6名(非常勤) 介護職員 9名(非常勤) 運転員 6名(非常勤)		
契約者数等	【延べ利用者数】 8,424人 【契約者数】 99名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「麦田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,376,790	402,432	19,779,222	19,692,222	87,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	104,600	△ 104,600	
雑入	20,000	0	20,000	48,243	△ 28,243	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	20,000		20,000	44,183	△ 24,183	
その他			0	4,060	△ 4,060	
その他	3,848,358		3,848,358		3,848,358	
収入合計	23,245,148	402,432	23,647,580	19,845,065	3,802,515	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,214,148	0	13,214,148	10,006,811	3,207,337	
本俸	11,396,148		11,396,148	8,581,478	2,814,670	
社会保険料	820,000		820,000	904,370	△ 84,370	
手当計	900,000		900,000	367,819	532,181	
健康診断費	15,000		15,000	5,823	9,177	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	6,750	250	
退職給付引当金繰入額	75,000		75,000	139,952	△ 64,952	
その他	1,000		1,000	619	381	
事務費	2,194,000	0	2,194,000	2,169,627	24,373	
旅費	20,000		20,000	5,582	14,418	
消耗品費	250,000		250,000	137,857	112,143	
会議贈い費	30,000		30,000	17,181	12,819	
印刷製本費	64,000		64,000	63,972	28	
通信費	200,000		200,000	153,873	46,127	
使用料及び賃借料	21,000	0	21,000	207,156	△ 186,156	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,000		21,000	21,120	△ 120	
その他			0	186,036	△ 186,036	
備品購入費	125,000		125,000	154,986	△ 29,986	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	29,460	△ 9,460	
職員等研修費	10,000		10,000	440	9,560	
振込手数料	0		0	31,820	△ 31,820	
リース料	125,000		125,000	76,947	48,053	
手数料	1,400		1,400	0	1,400	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	1,327,600		1,327,600	1,290,353	37,247	
事業費	306,000	0	306,000	101,253	204,747	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000	107,003	156,997	
その他			0		0	
管理費	7,057,000	0	7,057,000	8,069,398	△ 1,012,398	
光熱水費	4,587,000		4,587,000	5,267,882	△ 680,882	
清掃費	1,149,000		1,149,000	1,261,469	△ 112,469	
機械警備費	200,000		200,000	198,550	1,450	
設備保全費	904,000	0	904,000	947,055	△ 43,055	
空調衛生設備保守	410,000		410,000	413,450	△ 3,450	
消防設備保守	21,000		21,000	23,895	△ 2,895	
電気設備保守	72,000		72,000	102,195	△ 30,195	
害虫駆除清掃保守	26,000		26,000	27,252	△ 1,252	
駐車場設備保全費	15,000		15,000	14,600	400	
その他保全費	360,000		360,000	365,663	△ 5,663	
共益費	0		0	0	0	
その他	217,000		217,000	394,442	△ 177,442	
修繕費	474,000		474,000	479,255	△ 5,255	予算：指定額
公租公課	0	0	0	1,025,236	△ 1,025,236	
事業所税			0		0	
消費税			0	1,023,790	△ 1,023,790	
印紙税			0		0	
その他			0	1,446	△ 1,446	
その他			0	47,154	△ 47,154	
支出合計	23,245,148	0	23,245,148	21,898,734	1,346,414	
差引	0	402,432	402,432	△ 2,053,669	2,456,101	

自主事業費 収入	0	0	0	104,600	△ 104,600	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	107,003	156,997	
自主事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	△ 2,403	△ 261,597	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	20,000	0	20,000	44,183	△ 24,183	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,000	0	21,000	21,120	△ 120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 1,000	0	△ 1,000	23,063	△ 24,063	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和6年度「麦田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,134,714		25,134,714	24,798,714	336,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0	0	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,949,103		5,949,103	5,949,103	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			4,382,000		4,382,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	4,382,000		4,382,000		4,382,000	
収入合計	35,619,817	0	35,619,817	30,901,817	4,718,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,402,816	0	31,402,816	23,821,930	7,580,886	
本俸	18,054,816		18,054,816	18,357,724	△ 302,908	
社会保険料	3,700,000		3,700,000	3,039,154	660,846	
手当計	8,306,000		8,306,000	896,285	7,409,715	
健康診断費	32,000		32,000	24,655	7,345	
勤労者福祉共済掛金	27,000		27,000	20,250	6,750	
退職給付引当金繰入額	1,280,000		1,280,000	1,482,006	△ 202,006	
その他	3,000		3,000	1,856	1,144	
事務費	671,000	0	671,000	1,170,842	△ 499,842	
旅費	1,000		1,000	8,372	△ 7,372	
消耗品費	90,000		90,000	120,353	△ 30,353	
会議ठी費	0		0	0	0	
印刷製本費	2,000		2,000	0	2,000	
通信費	50,000		50,000	146,683	△ 96,683	
使用料及び賃借料	0	0	0	47,250	△ 47,250	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	47,250	△ 47,250	
備品購入費	10,000		10,000	431,479	△ 421,479	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	3,000		3,000	7,830	△ 4,830	
職員等研修費			0	12,036	△ 12,036	
振込手数料	35,000		35,000	8,400	26,600	
リース料			0	84,027	△ 84,027	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	480,000		480,000	304,412	175,588	
事業費	1,601,001	0	1,601,001	457,487	1,143,514	
協力医	630,000		630,000	294,000	336,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	597,001		597,001	0	597,001	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,740	△ 740	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	220,000		220,000	8,747	211,253	
その他			0	0	0	
管理費	1,819,000	0	1,819,000	2,145,024	△ 326,024	
光熱水費	1,215,000		1,215,000	1,400,323	△ 185,323	
清掃費	310,000		310,000	335,327	△ 25,327	
機械警備費	52,000		52,000	52,778	△ 778	
設備保全費	242,000	0	242,000	251,744	△ 9,744	
空調衛生設備保守	110,000		110,000	109,904	96	
消防設備保守	6,000		6,000	6,351	△ 351	
電気設備保守	20,000		20,000	27,165	△ 7,165	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	7,244	△ 244	
駐車場設備保全費	4,000		4,000	3,880	120	
その他保全費	95,000		95,000	97,200	△ 2,200	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	104,852	△ 104,852	
修繕費	126,000	0	126,000	126,000	0	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	35,619,817	0	35,619,817	27,721,283	7,898,534	
差引	0	0	0	3,180,534	△ 3,180,534	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	971,001	0	971,001	163,487	807,514
自主事業 収支	△ 971,001	0	△ 971,001	△ 163,487	△ 807,514

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 麦田地域ケアプラザ

R6年4月1日~R7年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援/介護予防支援			居宅介護支援			通所介護/第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	8,965	9,461	-496	15,765	10,645	5,120	93,904	77,662	16,242
	その他	0	0	0	915	696	219	8,383	7,226	1,157
	事業・負担金収入			0	915		915	7,958	6,943	1,015
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
				0			0			0
	その他			0		696	-696	425	283	142
	収入合計(A)	8,965	9,461	-496	16,680	11,341	5,339	102,287	84,888	17,399
支出	人件費	2,750	2,810	-60	10,937	7,479	3,458	58,056	51,924	6,132
	事務費	8	8	0	40	3	37	265	322	-57
	事業費	52	16	36	670	654	16	29,595	30,589	-994
	管理費			0			0			0
	その他	4,699	5,535	-836	140	19	121	1,890	594	1,296
	利用者負担軽減額			0			0		112	-112
	消費税			0			0			0
	介護予防プラン委託料	4,699	5,535	-836			0			0
				0			0			0
	その他			0	140	19	121	1,890	482	1,408
	支出合計(B)	7,509	8,369	-860	11,787	8,155	3,632	89,806	83,429	6,377
	収支 (A)-(B)	1,456	1,092	364	4,893	3,186	1,707	12,481	1,459	11,022

※介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

<p>■ 事業</p> <p>1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業</p> <p>3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）</p> <p>6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）</p>	<p>■ 事業の性質</p> <p>1：優先的に取り組みが求められる事業</p> <p>2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業</p>	<p>■ 主な対象者、従たる対象者</p> <p>1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児</p> <p>4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者</p> <p>7：その他</p>
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	認知症高齢者ミニデイ「月曜喫茶室」	平成17年度	1:地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・認知症の高齢者の在宅生活を地域で支える仕組みづくりの一環として実施。 ・認知症の進行を遅らせ、地域の中で元気に生活できるよう支援する。 ・家族の負担軽減を図る。 ・地域への認知症についての啓発	1:高齢者	5:地域	ボランティアが中心となって実施する、軽度認知症の高齢者を対象としたミニデイサービス。 毎月第2、第4月曜日13:30～15:00	20	324
2	高齢者向けサロン「麦麦ハッピーくらぶ」	平成28年度	1:地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・趣味や話の合う仲間づくり、閉じこもり予防、リフレッシュなど ・高齢者のニーズ把握の機会	1:高齢者	5:地域	地域の高齢者を対象とした趣味と憩いと交流のサロン事業。 毎月第3木曜日13:00-14:30	12	252
3	子育てサロン「むぎた子育てサロン」	平成16年度	1:地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・親(養育者)同士の交流や情報交換、リフレッシュの場の提供 ・子どもにとって集団活動の体験 ・親や関係機関とケアプラザの顔の見える関係づくり ・地域子育て支援者同士の情報共有	3:養育者及び乳幼児	5:地域	地区社協と共催。 子育て中の親子で集えるフリースペースサロン。 毎月第4水曜日10:00～12:00	11	206
4	第三地区ワークショップ	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地区社協と共催にて、年に1回第三地区の町内会・民生委員と地域について考えていく。	5:地域	5:地域	CP・民生委員が課題としている認知症理解啓発について、勉強会という形で実施に向けて検討中。	1	53
5	施設利用団体交流会	平成31年度	1:地域活動交流事業	1 優先的に取り組み	・新たな活動の場となるきっかけづくり。 ・登録団体Ⅱには福祉保健活動の具体的な活動内容や活動の場を紹介。 ・各団体同士の交流を深め、団体同士の顔の見える関係づくりをする。 ・施設利用団体へケアプラザの役割、地域活動の意義、施設利用のルールを再確認し、順守を促す。	5:地域	5:地域	・ケアプラザの説明、施設利用ルールの確認 ・各団体の紹介 ・グループに分かれて茶話会 年1回実施	2	36
6	体験学習・体験ボランティアの受入れ		1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・子どもたちの福祉学習・教育の場の提供 ・学校との連携 ・ボランティア希望者の受入	5:地域	7:その他	通所介護(デイサービス)や地域交流事業での体験学習受入れ。 都度	3	8
7	くるくるマルシェ	令和2年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	野菜販売を通じて地域交流活動の促進 就労支援B型事業所との連携	5:地域	1:高齢者	NPO法人スーリールファム・驛テラスの仲里さんと共催で野菜以外にも福祉作業所の物品などを販売する。 毎月第4水曜日11:00-14:00	11	216
9	出張講座	H30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	身近な場所で健康づくりや介護・福祉についての情報提供や、具体的方法についての指導を行い、地域住民の健康づくりに役立てて頂く。	5:地域	5:地域	・地域のサロンや食事会など、住民に身近な場所で、介護保険制度、ケアプラザ、認知症、介護予防、権利擁護など、地域が知りたいことを相談しながら内容を検討し、講座を実施する。	10	197
10	家族のつどい	H29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	在宅で認知症の方、およびMCI(軽度認知障害)の方を介護している家族同士が介護における悩みなどを共有し、情報交換やリフレッシュできる場とする。	7:その他	5:地域	フリートークを中心に、情報交換、勉強会、など。6月/10月/2月開催。	4	2
11	権利擁護講座“成年後見とは？”	R2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	・権利擁護の普及啓発 ・元気づちから備えること～死後の支援のことまで、トータルで学び、最期まで安心して暮らすための情報発信を行う。	1:高齢者	5:地域	士業の先生を招いての講座を開催する。 町内会の見守り活動のサポーター向けに実施をしていく	11	75
12	ケアマネサロン	H30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	エリアのCM向け、顔の見える関係作りや横の繋がりを目的に、6包括で共済で開催。	5:地域	6:事業所	フリートークの他、情報交換、勉強会、事例検討など。 基本毎月実施予定	6	48
13	介護予防講座	R4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1 優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、介護予防の具体的な取組みを始めるきっかけとなる機会を提供し、日常生活の中で身体状況に応じた介護予防活動を実践する高齢者が増えることを目指す。	1:高齢者	5:地域	健康づくりサポーターフォローアップ講座 介護予防講座(ハマトレ、栄養、口腔、フレイル総論、認知症について) 介護予防講座(栄養、口腔、ハマトレ、フレイル総論)	13	161
14	医療講演会	H31年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域住民に身近な疾患や最新の医療情報についての知識を深めてもらい、疾病予防に役立ててもらおう。協力医、近隣の医療機関との連携を図る。	5:地域	7:その他	協力医による医療講演会(会場:麦田C P) 9月:「糖尿病」 2月:「高血圧」	2	10
15	地区社協事業困りごと引き受け隊への支援	H30年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	地区社協事業として、継続して活動することができるように、活動者の思いを大切に振り返る場として定例会を開催する。また、ボランティアが必要であれば、DIY講座などを行い、ボランティア募集を行う。	5:地域	1:高齢者	偶数月第一水曜日13:30～定例会。	4	38

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	ボランティア入門講座	R6年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	No16の困りごと引き受け隊の支援として、ボランティア入門講座として庭木の剪定の仕方等の講座を行う。ボランティア活動に興味がある方を困りごと引き受け隊に実習先として体験をし、会員募集を実施する。	5:地域	5:地域	10月頃を予定。	0	0
17	ボランティア育成講座(ボランティアポイント)	令和5年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ボランティアをしたい人がボランティアをするきっかけとなるように、ボランティアポイント登録可能者を対象にしてボランティア講座を行う。	1:高齢者			0	0
18	はなことば(園芸活動)	令和3年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザの敷地で花を育てることを通して、地域での交流を増やす。また、障がいのある人もいつの間にか地域に溶け込み、受け入れ合えるようなグループをケアプラザから誕生させるねらい。	5:地域	7:その他	グループ活動やそれ以外の時間にもふらっと来て園芸活動を行える環境をつくることでボランティア活動の幅を広げる。	21	118
19	ふれあいサロン	平成12年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	・第3地区連合町内会エリアの高齢者の見守りや閉じこもり防止。 ・民生委員児童委員とケアプラザ職員の顔の見える関係づくり。	6:事業者	5:地域	・折り紙、ゲーム等のレクリエーション ・気功やコグニサイズの実施 毎月第2水曜日13:00～15:00	11	278
20	民生委員・ケアマネ交流会	H30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	民生委員・児童委員とケアマネジャーの連携協働の関係作りから、地域包括ケアの実現に向けたあらたな社会資源の創出や活性化につなげる。	5:地域	6:事業者	実施を検討。	0	0
21	認知症サポーター養成講座	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の方も住み慣れた町で過ごすことができるように、地域住民へ認知症の理解を広げていく。また、認知症の理解をCPと一緒に広めていくためのサポーターを要請していく。	5:地域	5:地域	小学校向けにサポーター養成講座を実施する。10月ごろ実施に向け、小学校へアプローチ。	2	75
22	ハローよこはま	昭和51年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	中区民まつり「ハローよこはま」において、ケアプラザの周知を目的としてブースを設置(区内6地域ケアプラザ合同)。他CPの他職種と一緒に事業をおこなうことで連携を深める。	5:地域	7:その他	区内6地域ケアプラザの周知のため、チラシを配布。防災をテーマに福祉避難所についてパネル展示。各CPイメージキャラクターのフォトコーナー設置。 11月実施予定	1	189
23	ふらっとむぎた～ストリートコンサート～	R4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①普段くる機会の少ない住民へケアプラザの周知。 ②施設利用団体やボランティア活動団体に活動の場の提供。 ③多世代交流のきっかけを作る。 ④地区社協と共催することで、地区社協や民生の関わりを増やす。	5:地域	7:その他	地区社協と共催。12月実施予定。	1	100
24	民生委員ミニ勉強会・情報交換会	H30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	・民生委員の見守り活動に役立つ情報等の周知 ・民生委員との関係作り ・民生委員との連携強化	5:地域	5:地域	・介護保険制度について ・CPについて ・地区ごとに気になることの情報交換	7	51
25	地域活動支援事業	平成30年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	健康講座から立ち上がった地域住民主体の健康クラブの自立支援、また元気づくりSTや各老人会の活動など、すでに自立している団体の活動が活発に維持出来るよう支援を行う。ボランティア講座を行い、参加者がグループ活動を継続する意義や大切さを再確認する。地域で活動するグループ同士の交流場をつくる。	1:高齢者	5:地域	活動に定期的に参加し情報提供や相談対応を行う。また、依頼に応じて講座を行う。 ・上野町東部:毎月1回 ・西之谷:元気づくりST ・豆口台上町:偶数月第3火曜 ・本牧緑ヶ丘:奇数月第2水曜 ・麦田町:第1.3水曜日 他老人会等 ・レインボー(元気づくりST):必要時	19	220
26	ざっくばらん会	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	・民生委員と地域活動者の顔がつながりネットワーク構築の会とする ・それぞれの立場で抱えている課題や目標を共有し、ネットワークを活かして解決につながることを期待する ・CPとしては、地域での見守り体制の構築に向けての話し合いや、主に高齢者の生活上の困りごとを地域で解決することにつながるような話し合いを継続して行いたい。	5:地域	5:地域	隔月など定期的に協議体として開催する。	5	50